

Makefile で条件分岐

make の際に OS の種類をみて処理を変えたいということがよくある。
BSD make を使うのをあきらめて、GNU make を利用すると
ifeq ~ else ~ endif が使えて便利なのだが、

```
ifeq (`uname`, Darwin)
    OPT=hoge
else
    OPT=gaso
endif
```

みたいなことをやっても上手くいかない。
期待した動作を得るためには、shell 関数を使って

```
ifeq ($(shell uname), Darwin)
    OPT=hoge
else
    OPT=gaso
endif
```

のようになければいけない。
また、find とかを使ってファイルのリストを得たいような場合も
変数にバッククォートで括ったコマンドを与えるよりも
shell 関数を使った方が、実行が一回で済むというメリットが得られるようだ。